

# YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第13号 令和元年9月24日発行



## 2年 アカデミックキャンプ

### ～ 最先端の技術や本物に触れる体験をしよう ～

9月4日（水）～6日（金）、宿泊場所である国立オリンピック記念青少年総合センターを起点に、2学年のアカデミックキャンプ（AC）が行われました。このアカデミックキャンプは、『グローバル体験学習の内容である「環境」「伝統文化」「ものづくり」「多文化理解」を踏まえ、日頃の学習に関する理解を深めるとともに、自ら考え、協力して行動する態度を養う』を目的としています。そして、『政治・経済・文化等の中心である東京での体験活動を通し、探究心を育て、教養人としての素養を身に付ける』本校独自のキャリア教育の行事です。今年度は、「ものづくり」領域で、「IHI横浜工場」での見学や講話を取り入れたり「多文化理解領域」で、「日本赤十字社」での講話を取り入れたり、より一層充実した活動となりました。また、3日目は、東京大学において、東京大学大学院生による「東大研究最前線」の講義と東大准教授である奥山輝大先生からの講義を受講することができました。

#### 環 境



< JAMSTEC 横須賀本部① >



< WWFジャパン① >



< JAMSTEC 横須賀本部② >



< 三菱みなとみらい技術館 >



< WWFジャパン② >

#### 伝 統 文 化



< 早稲田大学能楽サークル  
「金春会」 >



< 歌舞伎座ギャラリー >

< 浅草寺お詣り &  
仲見世通り散策 >



< 江戸東京博物館 >



ものづくり



<早稲田大学高西研究室ロボット見学 及び高西教授の講義>

<IHI横浜事業所見学及び講義>



<東芝未来科学館>



<深中メッキ工業 深田 稔社長の講義 >



<アトリエアミーチ 革クラフト体験>

多文化理解



<UNICEFハウス>



<国立政策研究大学院大学 留学生との交流>



<日本赤十字社 本社>



<JICA地球広場>

活動1日目の夜、オリンピックセンターの講義室において、一人一人が活動の振り返りを自分の研究課題と関連づけてプレゼンテーションを行いました。そして、2日目の夜は、各領域ごとに見学内容や講義内容の発表を行いました。短い準備時間でしたが、各領域ともに創意工夫あふれる発表を行い、各領域の活動を共有することができました。

<3日目 アカデミックセミナー>

★ 東京大学大学院生による講義「10分で伝えます！ 東大研究最前線！」★

- ・「故き火星を温めて新しき地球を知る」野田夏実
- ・「微分が導く『もしも』の世界」鈴木良平
- ・『コラーゲン飲料の効果』をどう考える？ 蔵田玲美
- ・「美術の、近代を、考える」 鍵谷怜

★ 東京大学准教授 奥山輝大 先生による講義 ★

奥山先生は、動物がどのように他個体を認識・記憶し、どのように最終的な社会行動の意志決定に至るかという一連の神経基盤について、光遺伝学・神経生理学的手法を用いて研究されています。